

## 旧玉川工業高校跡地における(株)ベジテックの今後は

杉田 健司



**町長 賃貸借期間の延長や条件付きの売却など、慎重に進めていく**

問 令和4年以降、どのような交渉、調整及び情報交換を行ったか。

答 (株)ベジテックに対して、進捗状況・現状等について定期的な確認を行っており、埼玉県等とも情報共有を行うなど企業立地の実現に向

けて連携を図っている。

問 賃貸借契約が2年程となった。(株)ベジテックが協定に基づく購入代金を町に支払うことで、所有権が(株)ベジテック側に移転し、今後、他社への転売等、様々な事態が想定され、住民か

らの不安の声が懸念されるが、町の見解は。

答 (株)ベジテックとは平成29年6月2日に「旧埼玉県立玉川工業高校跡地利用についての覚書」を締結し、町が埼玉県から土地を購入後の平成29年6月30日に

「土地賃貸借契約書」を10年間の期間で締結。また、10年後の売却について協議した協議書を平成30年8月21日に結んでいる。賃貸借契約期間の満了まで残り2年程となり、不安に思う方がいることは理解しているが、これまでの経緯を踏まえ、地域の活性化が図れるよう慎重に進めていく。



旧玉川工業高校跡地



## 令和7年度からの国保税はどのように変わるのか



**町長 県が示す標準保険税率に向けて段階的に増額を行う**

問 国保基金の繰入れがでなくなり、県に借金した場合の返済手段は。

答 被保険者に賦課される。令和7年度も基本検診は無料か。

問 令和7年度も基本検診は無料か。

シエアハウスの今後は

問 今後の方向性は。

答 シエアハウスとして継続、地域おこし協力隊員等の活動拠点、売却、分譲地として販売の4方向で検討中。

問 使用目的の変更があっても大丈夫なのか。

答 地域の活性化、移住定住等の範囲であれば可能。

明覚駅前無料自転車置場について

問 満車状態にある駐輪場

の改善、工夫は。

答 南側の駐輪ラックを撤去。効果があれば北側も撤去。

問 駐輪場と線路横の間に固まる砂利を敷き、片屋根の駐輪場ができないか。

答 安い方法を検討する。

問 公園の奥の農産物加工施設は建具会館に移設して空き施設になっているはずだが、駐輪場にできないか。

答 みそ加工グループが使用している。

問 移設の約束と違うのでは。住民の要望を聞き入れた。

## 農業者支援の拡充を

野原 和夫



**町長 町の農業者に寄り添った制度にするため要綱の改正を進める**

問 農林水産省の交付金等の活用や本町の農業者支援補助金の拡充を。

答 補助金等により、農業経営を支えることは重要であると考えている。

問 町外に耕作地を持っている農業者は種苗等の購入

金、労働条件の適正化にどのように向き合うか伺う。

答 業者が価格競争に陥らないこと、最低制限価格の導入、週休2日制適用、工事中間前払い金制度など、様々な対応を行っている。

太陽光発電計画について

問 大字五明字滝山1661番地1に太陽光発電施設設置の計画があるが、土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域に指定されている。立地として不適切な場所であるが、町の考えは。

答 当該地は、重点抑制区域に指定され、より慎重な検討が必要である。申請等が提出された際は、関係法令及び関係条例に基づき、適正な審査をする。



## ヒアリングフレイルの対策を

小島 利枝



**町長 高齢者の集う場を活用して、周知と簡易チェックを行う取り組みを検討していく**

※ヒアリングフレイルとは

聴き取る機能が衰え会話が困難になり、人とのつながりが低下し虚弱な状態や認知症発症リスクが高まる。

がん患者への支援について

アピアランスケアAYA世代の経済的負担の軽減を

問 アピアランスケア用品購入の助成を行う考えは。

問 AYA世代ががん患者の在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行う考えは。

問 町民健康課と福祉課で調整しながら研究していく。

防犯対策の強化を

―自助・共助・公助―

問 公的支援の一つとして町内の主要な箇所に防犯カメラ設置の考えは。

答 プライバシー等の問題を考え、検討していく。